



豊春中だより

学校教育目標
かがやく未来を創る
～夢・感動・絆～

〒344-0048 春日部市南中曽根107番地2 TEL048(752)2717 FAX048(763)9664

「あたり前がひかり輝く」～大谷翔平選手に学ぶ～

校長 永野 修

風にそよぐ木々の緑のまぶしさ、可憐な顔を見せる花々、鳥たちのさえずり、そして、生き生きと明るい表情で登校する生徒の姿、まさに命の息吹を感じる季節となりました。生徒たちも新しい環境に慣れ、徐々に自分らしさを発揮しているところです。1年生は、中学校生活にも慣れ、先日の校外学習でのカレー作りやオリエンテーリングを通して仲間との絆を深めてきています。2年生は、中堅学年として諸活動において自覚をもった生活ができるよう頑張っています。3年生は、体育祭・修学旅行等の準備をとおして最高学年としてのリーダーシップを発揮しています。

さて、先月の入学式式辞や今月の全校朝会の講話の中で、アメリカで活躍している大谷翔平選手の生き方や考え方について紹介しました。入学式の式辞では、「何事にも積極的にチャレンジしてほしい」という話の中で、「人生が夢を創るんじゃない、夢が人生を創るんだ」「無理だと思わないことが一番大事」「悔しい経験がないと嬉しい経験もない」という大谷選手の言葉から大きな夢に向かって惜しまぬ努力を積み重ねチャレンジし続けていることの大切さを新入生に伝えました。5月の全校朝会では、大谷選手が花巻東高校時代に作成した「目標達成シート」から現在の大谷選手の原点となる生き方、考え方について生徒と共に考えました。特に、人間性を高めるために実践していたこと、運を引き寄せるために実践していたこと、例えば「挨拶」「感謝」「思いやり」「ごみ拾い」「掃除」等、生徒にとって日頃の学校生活に直結した日々のあたり前の積み重ねが大きな夢や目標の達成につながることを再認識することができました。

本校の目指す学校像の一つに「あたり前がひかり輝く学校」という言葉があります。今年度もスタートして一か月経ちますが、生徒の「あたり前がひかり輝く」場面に数多く遭遇することができています。例えば、登下校時の元気で爽やかな挨拶、チャイム前着席と授業での積極的で真剣な眼差し、静寂の中の真剣な朝読書、清掃時に無言で膝をついて床を磨く姿など、他にも数えきれないほどの「あたりまえが輝く場面」に出会うことができました。改めて、学校生活の中で「時を守り・場を清め・礼を正す」の積み重ねが生徒の学力向上や心の成長の基盤となることを実感しているところです。

今後とも、豊春中では学校教育目標「かがやく未来を創る」の旗印の下、生徒一人一人の夢や目標を育み、その実現のために「あたり前がひかり輝く学校」を目指して、教職員が一丸となって生徒とともに汗を流し学び高め合い、生徒のよさを伸ばす教育活動を推進してまいります。

ご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

